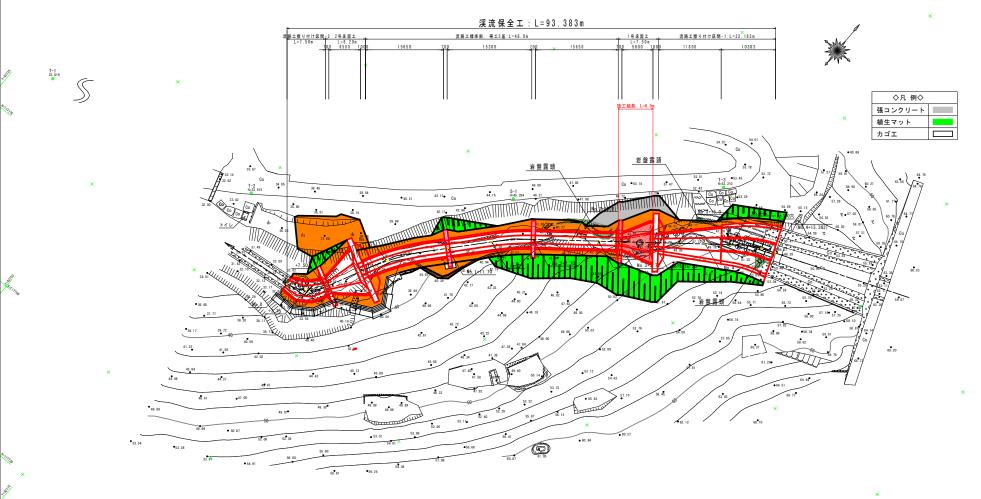
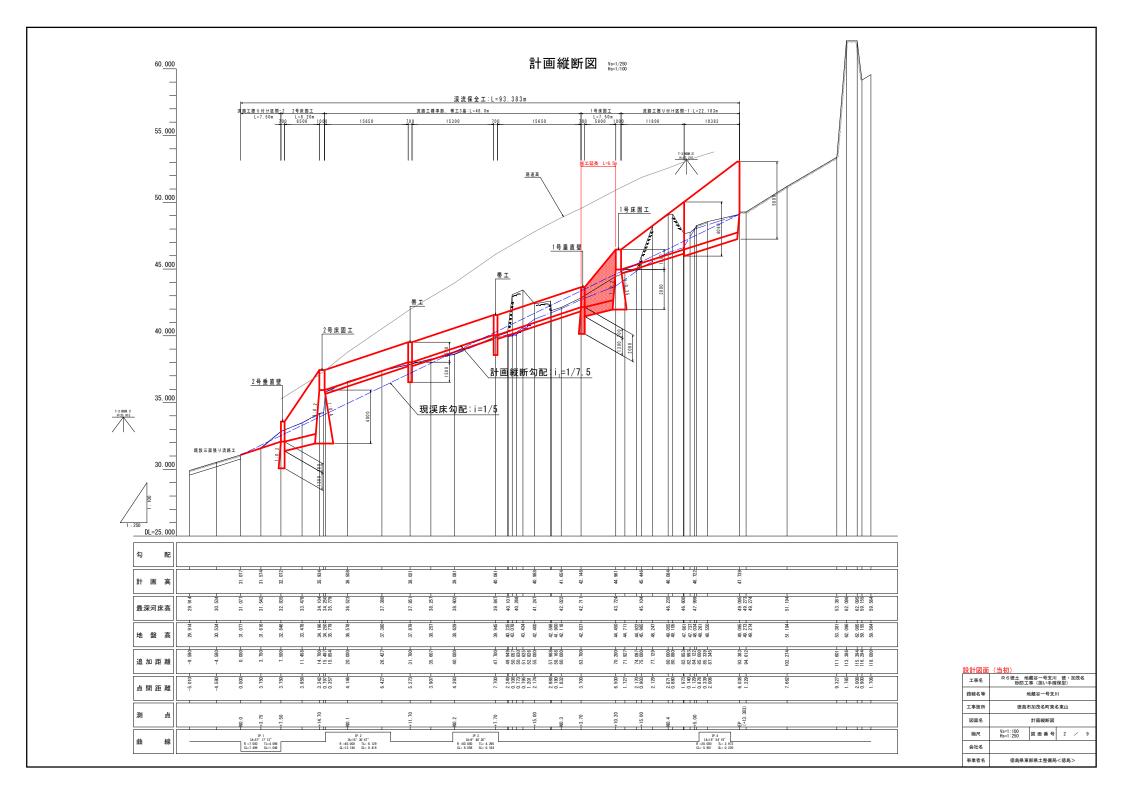
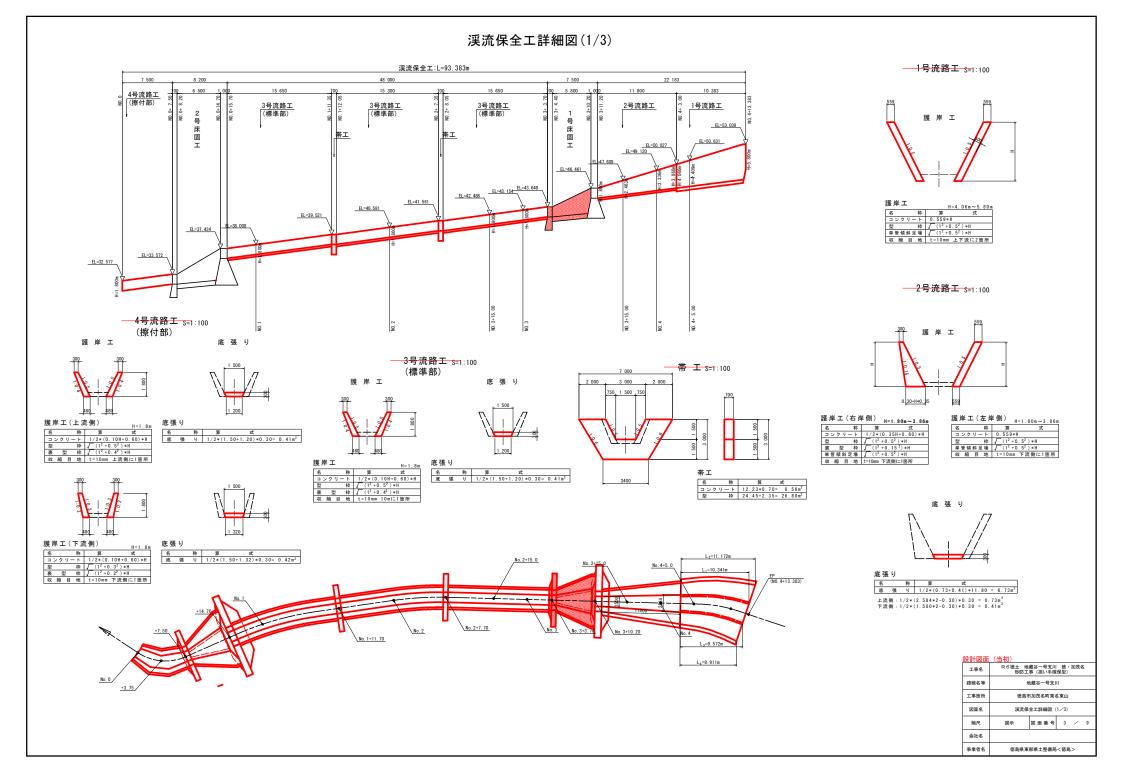
# 計画平面図 <sub>S=1/250</sub>

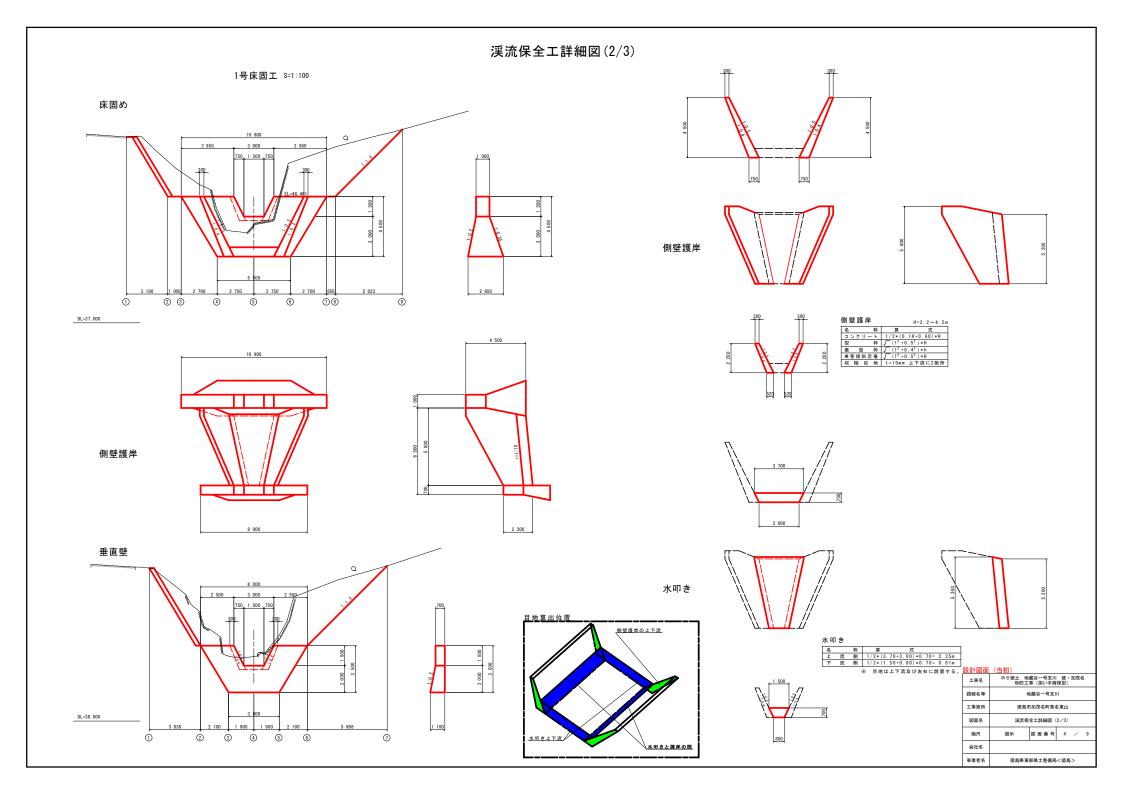


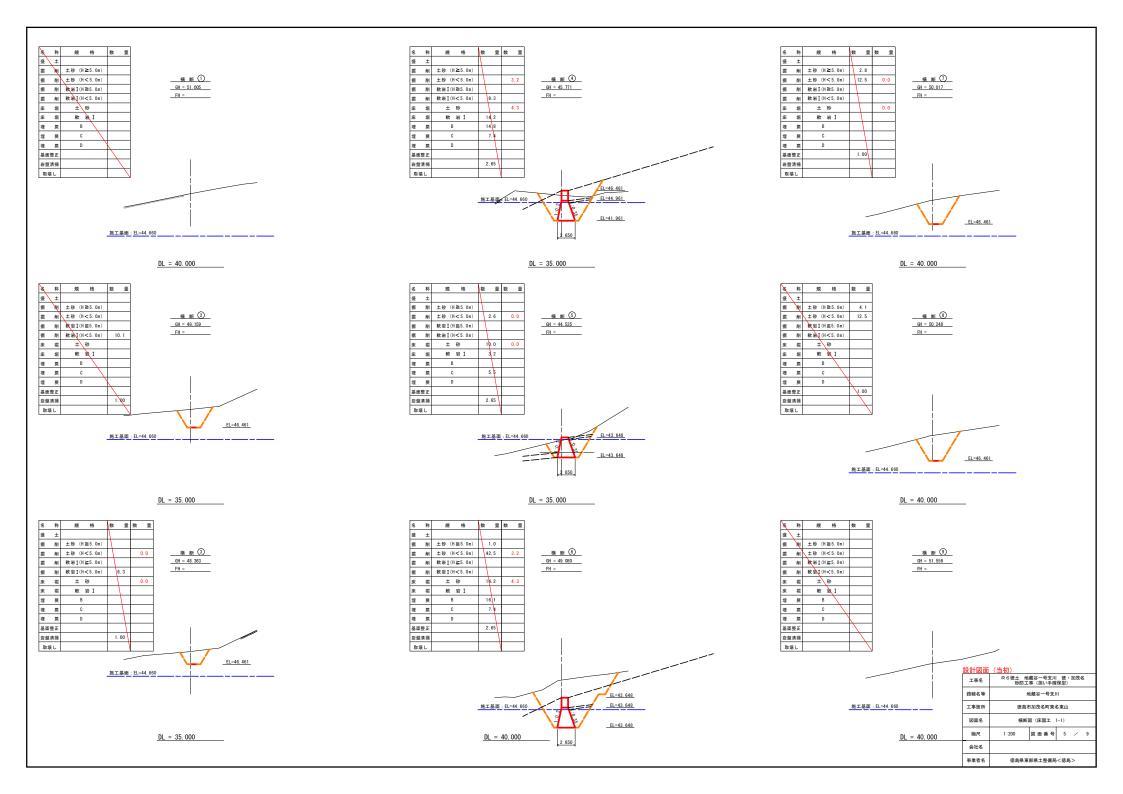
基準点一覧表			
点 名	X座標	Y座標	Z座標
T-1	117780. 165	92702. 332	23. 619
T-2	117792. 896	92773. 911	33. 91
T-3	117850. 568	92840. 954	53. 210
S-1	117823. 571	92812. 199	45. 284

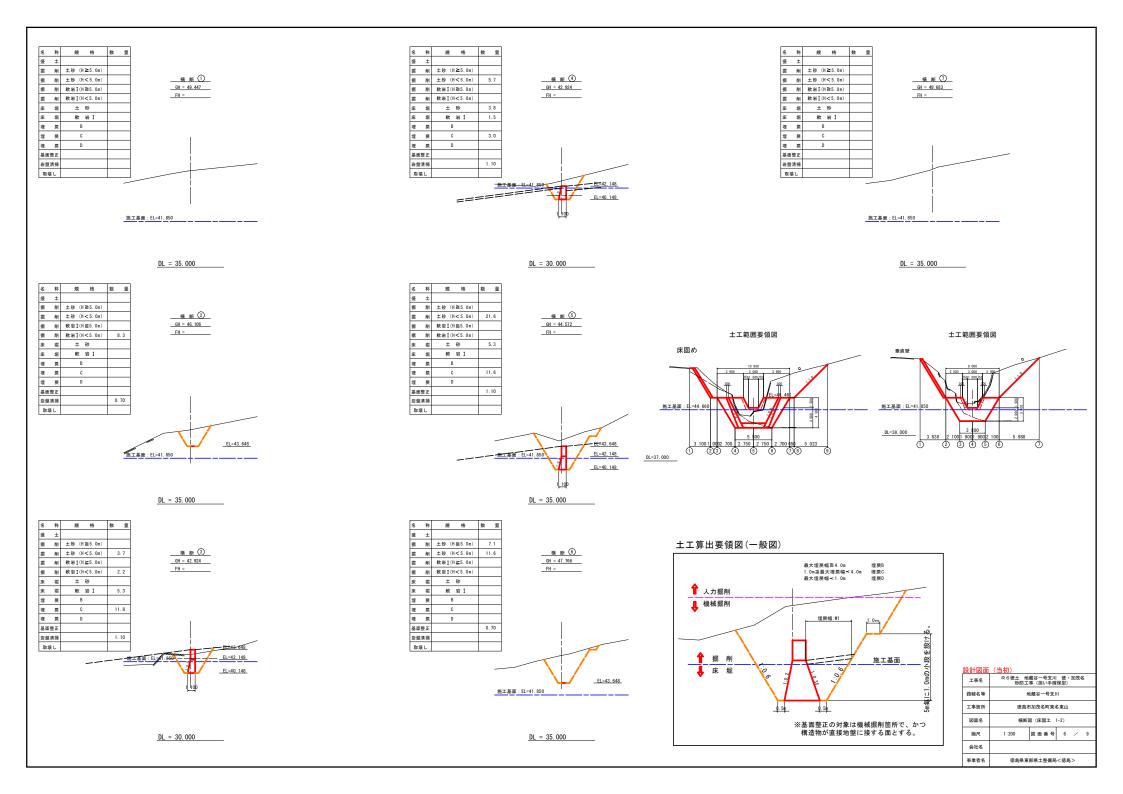
	工事名	R 6徳土 地蔵谷一号支川 徳・加茂名 砂防工事(担い手確保型)					
路線名等 地蔵谷一号支川							
	工事箇所	德島市加茂名町東名東山					
	図面名	計画平面図					
	縮尺	1:250	図面番号	1	/	9	
	会社名						
3797	事業者名	徳島県東部県土整備局<徳島>					









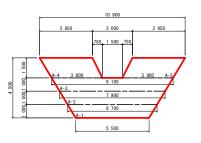


## コンクリート打設参考図・足場工算出要領図(1号床固工) s=1/100

### コンクリート打設参考図

### 正 面 図

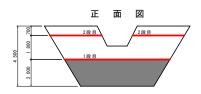
面 図





	/ / 11 DX D1 E	=	
打設 順序	ブロック 番 号	コンクリート 設計数量	累計
1	A- 1	14. 43	14. 43
2	A- 2	13. 27	27. 70
3	A- 3	10. 78	38. 48
4	A- 4	5. 81	44. 29
5	A- 5	5. 81	50. 10
	合 計		50. 10
	合 計		50. 10

ブロック打設計画





足場延長の算出方法は、足場の高さ方向の標準設置間隔を1.8mとして段数を決定し算出する。 足場延長第出式 La = Aa/1.8m Aa:足場対象面積(m2) ※垂直投影面積とし、足場の不要となる基礎地盤より2.0m分は 控除するものとする。

注意事項: 1. 間詰がない場合は基盤から2mのところより計上する。 (足場の不要となる基礎地盤とは、平坦(i=1/10以内)が5.0m以上の箇所をいう) 2. 斜線部分は計上しない。 3. ! ブロック(目地の間)内では段差はつけない。

4. ジョイント部は各年度の最終リフト差が2mを越える場合に計上する。

3 000 2 500 6 200 5 000



ブロック打設計画

打設 順序	ブロック 番 号	コンクリート 設計数量	累計
1	B- 1	4. 38	4. 38
2	B- 2	4. 46	8. 84
3	B- 3	2. 55	11. 39
4	B- 4	2. 55	13. 94
	合計		13. 94

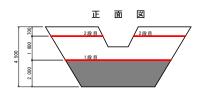
床固工(上流側)

 $Aa = 20.13 \, \text{m}^2$ La=20.13/1.8=11.2m

足場(キャットウォーク)延長

足場工算出要領図

床固工(下流側)





### 堤体施工に関する留意事項

- 1) 1 リフトの打設高さは0.75~2.0m を標準とする。 2) 岩盤上及びやむを得ず長い日数にわたって打止めておいたコンクリートに打継ぐときは0.75~1.0m の

- 4) 開接プロックの打放高低差は、上下流方向で4リフト、様方向8リフト以下とする。
  2 打放計画
  1) 施工に先立ち全体の打設計画を立て、日々打設のプロック割を決定し、打設する。
  2) プロック対数の場合は硬化数の免散を考慮し、開接プロックの打込み網件を改める。
  3) コンタリート下込み前にあらかじめ基礎無盤面の浮石、塩積物、油及び岩片等を除去した上で、圧力水等により清掃し、潜水、砂条を除去しなければならない。
  4) コンタリートを打込む基礎無鑑度が水平打器目のコンタリートについては、あらかじめ吸水させ、湿潤状態にした上で、モルタルを登込なように数数さなければならない。
  5) モルタルの配合は本体コンタリートの品数を損なうものであってはならない。また、数き込むモルタルの厚さは平均原で、過ぎでは20m 程度、水平打器目であるのとする。
  6) 水平打器目の処理については、圧力水等により、レイタンス、減物を取り除くとともに清掃しなければならない。
- いらない。日ンガルにしていまい、山ノハウマによう、ピファンス、最初によりからした。日に市場にないにはな リーリフトを表態に分けて打込むときには、練園めた後の1階の厚さが、40~50cm 以下を標準となるよう に打込まなければならない。 3) コンクリートの養生を放水等により行わなければならない。コンクリートの養生方法は、外気温、配合、

- 3) コンクリートの要生を放水等により行わなければならない。コンクリートの乗生方法は、外気温、配合、構造物の大きを考慮に登切に行わなければならない。
  9) 水通し膨は、なるべく計画洪水量を浸漉させる前面を確保できる打設計画とする。
  10) 水通し膨は、なるべく計画洪水量を浸漉させる前面を確保できる打設計画とする。
  11) 水通し膨けない場合、未壊水通し幅は倒壁幅以下とする。
  12) コンクリートの打込みはコンクリートパケットの使用を標準と、コンクリート打込み用パケットを、その下端が打込み面上に、別下に速するまで解した。 しなければならない。
- 1) 新旧年度打継の水平面は硬化遅延剤、垂直面はチッピング処理を講じる。チッピングの厚さは0.5~1.0 cm
- 程度とする。 2 優心選進剤の施工方法はコンクリー・打破後、ブリージング水を除去してから液体を設布し、約8~24 時間後 (一般に12~14 時間)、水を噴きかけながら硬いブラシでこすり、凝結遅延しているモルタル部分を完全に大い出し青村を重ねさせる。

※ 待島県 砂防技術指針(室) 平成29年4日 P VIII-13

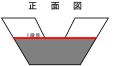
### $Aa = 20.13 \, \text{m}^2$ La=20.13/1.8=11.2m

 $Aa = 7.28 \, \text{m}^2$ La=7.28/1.8=4.0m

 $Aa = 7.28 \, \text{m}^2$ 

La=7.28/1.8=4.0m

## 垂直壁(下流側)



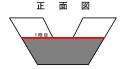


义 面 ■足場工数量

床固工: 11.2 + 11.2 = 22.4 m

垂直壁: 4.0 + 4.0 = 8.0 m

### 垂直壁(上流側)





### 設計図面 (当初)

工事名	R 6 徳土 地蔵谷一号支川 徳・加茂名 砂防工事(担い手確保型)				
路線名等	地蔵谷一号支川				
工事箇所	德島市加茂名町東名東山				
図面名	コンクリート打設参考図 足場工算出要領図 (1号床固工)				
縮尺	1:100	図面番号	7	/	9
会社名					
事業者名	徳島県東部県土整備局 < 徳島 >				

